

# 平成31年度 諫早市在宅医療・ 介護連携支援センター運営事業 活動報告書

一般社団法人 諫早医師会  
諫早市在宅医療・介護連携支援センター  
(かけはし いさはや)

## 事業の目的

要介護者等が、住み慣れた地域で在宅生活の継続に必要な医療と介護サービスを円滑に提供できる体制を構築するため、専門職から在宅医療に関する相談に対して支援を行います。

また必要な情報を発信するなど、医療と介護事業者の連携をサポートすることを目的としています。

諫早市在宅医療・介護連携支援センター  
TEL : 46-3166 FAX : 46-3167



# 2019年度 主な取り組み

## 在宅医療資源情報の把握及び情報整理

### ホームページのリニューアル(資料1)

医療機関や介護事業所、高齢者施設の訪問調査、アンケート調査を実施。  
 レイアウトやデザインを一新し、①事業所・施設等所在地のマップ、②施設詳細情報など  
 など、新たな情報を発信した。  
 また、ホームページの医療機関・介護事業所等一覧にリンクしたマップを作成した。

#### ①事業所・施設等所在地のマップ ホームページ掲載

### サービス付き高齢者向け住宅

No.	圏域	事業所・施設名、医療機関名等	事業主体(法人等)名	所在地	電話番号
1	中央部	ウェルケア天満	(医)宏善会	天満町6-1	47-9612
2	中央部	ジャストイン諫早	(株)ジャストインケア	幸町22-12	21-1255
3	中央部	あんしんハウス諫早	(有)三和興会	播田町32-2	24-0008
4	中央部	ジャストイン諫早 2号館	(株)ジャストインケア	幸町294-6	21-1255
5	中央部	サービス付き高齢者向け住宅 春の小路	(有)春陽	西小路町991-8	47-8539
6	中央部	ライフステージ「日の出の社」	百合堂会(有)	城見町1919-2	22-9000
7	北部	真和レジデンス	(福)真和会	本野町2-1	25-8335
8	北部	ケアホーム栄田	(株)シグマ	栄田町25-24	25-5880
9	北部	サービス付き高齢者向け住宅 彩絆	(有)信志会	真崎町877-1	23-2722
10	西部	サービス付き高齢者向け住宅 あじさい	(有)よしおか	新盛町後田1644-1	48-2811
11	西部	サービス付き高齢者向け住宅 西諫早	(医)祥仁会	真津町2884-1	25-1150
12	南部	ケアホーム イーハートブ諫早	(有)ポラリス	小川町595-35	21-1810
13	南部	森の駅	(株)ライフデザイン	森山町杉谷2902-1	36-1124
14	南部	きぼうの森	(一社)中央福祉会	小川町331	47-8851
15	南部	サービス付き高齢者向け住宅 慶月	(有)諫早ケア・サービス	扇面町810-2	21-1177
16	東部	いろいろ	(株)愛幸苑	小島井町小川原1136	34-2941



◎マップには、事業所を圏域ごとに色分けしたバルーンで表示  
 ◎バルーンクリックで所在地、電話番号を表示

クリック

#### ②施設詳細情報(サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム等58事業所)

サ高住-No.1 医療法人宏善会 サービス付き高齢者向け住宅 ウェルケア天満	
〒854-0006 諫早市天満町6-1	TEL 0957-47-9612 FAX 0957-47-9613
戸数 24戸 家族・夫婦の場合全戸2名入居可	体験入居 不可 保証人 要 1名
ペットとの入居 不可	喫煙 建物内全面禁煙 看取り 要相談
<b>費用</b> 敷金・礼金などの初期費用 要 (家賃の3か月分) 85,500円 ~ 112,500円 家賃 28,500円 ~ 37,500円 食費 月額 36,000円 治療食や検査食の対応 不可 管理費 月額 39,000円 共益費 月額 14,000円 その他月額で支払うもの 実費で支払うもの 自費サービス利用の場合: 30分 500円(税別) 医療費、介護サービス費、おむつ代など	<b>医療施設</b> 医療施設がある場合も入居可能なもの ・在宅酸素 (要相談) ・人工肛門 (要相談) ・インスリン注射 (要相談) ・その他 (要相談)
<b>送迎</b> 定期的な通院送迎 対応可 (タクシー、車いす(記念病院)) ※ヘルパー利用の場合有料 具合が悪くなった時の医療機関へ受診 対応可 (タクシー、車いす(記念病院)) ※ヘルパー利用の場合有料 ※状態によっては救急車を要請	<b>居室設備</b> エアコン(冷暖)、給湯、ナースコール、照明、ウォッシュレット付トイレ 福祉用具等の設置 ・歩行器(1台)・車いす(3台) ・ポータブルトイレ
<b>入居の際に必要な情報や注意点</b> ご本人、ご家族との面談を実施しています	<b>備品</b> 買い物 なし 外出行事 なし レクリエーション
<b>特色 PRポイント</b>	サービス付き高齢者向け住宅 軽費老人ホーム 有料老人ホーム 認知症対応型共同生活介護 (GH)

◎各事業所の調査票は、事業所名をクリックすることで表示可能。

画面のスクロールでも表示できる。

#### ◎掲載施設

- サービス付き高齢者向け住宅
- 軽費老人ホーム
- 有料老人ホーム
- 認知症対応型共同生活介護 (GH)

## 2019年度 主な取り組み

### 在宅医療・介護連携普及啓発

#### 医療と介護のお気軽座談会の開催

概ね10名以上の地域の団体やグループの市民を対象に、在宅医療や介護への理解を深めてもらうため、「医療と介護のお気軽座談会」を開催した。

第1回：1月30日（木）	場所：真崎町公民館	参加者：17名
第2回：2月13日（木）	場所：上山荘	参加者：17名
第3回：3月17日（火）	場所：さざんか会館	参加者：14名

#### ホームページ掲載

**医療と介護のお気軽座談会**

当センターでは、市民の方を対象に、在宅医療・介護への理解を深めることを目的に「医療と介護のお気軽座談会」を開催しています。

**在宅医療ってなあに？**      **介護保険サービスを利用する**

**かかりつけ医で安心を！**      **その時に備えて (ACP=アドバンス・ケア・プランニング)**

**対象**  
市内在住の市民で概ね10名以上の地域の団体やグループ

**時間**  
原則として平日（月曜日から金曜日）60分程度

**\*費用\***  
**無料です**

裏面の申込書に記入の上 FAX(46-3167)でお申込みください

**会場**  
申し込まれた方がご希望の会場  
駐車場はご準備ください

**その他**  
終了後はアンケートのご協力をお願いします

お問い合わせ 諫早市在宅医療・介護連携支援センター【担当：野口・西村】  
電話 0957-46-3166 FAX 0957-46-3167  
URL <https://kakehashi-isahaya.com/>  
ホームページからも申込書のダウンロードができます

本日は、貴重な講習に参加させて頂き、有難うございました。現在同居の母が、中重度認知症センターに、お世話になり、毎週1回 デザビレスに通っております。以前は、小倉町のリハビリに通っていましたが、大腿部骨折後、妹と私、三人同居となりました。その為、今後の生き方について、話し合う事も多くなり、先時、三人それぞれの終活について、話し合いました。今日、サンプルで「その時に備えて...」を見直し、内容が充実して、記入しやすくなったので、話し合っただけで記録に残したいな気がしたので、今日のサンプルを利用させていただきます。又、母も祖父(舅)を看取り、自光迄介護してまいりましたが、やはり、最期の時期は、自光で、余計な心配をしない方がいいと思っています。その為、母の望み通りにしてあげたいと、妹達と話し合っています。今日、このような機会に参加させて頂き、改めて、自身の生き方や、母の人生を幸せに願う時、真剣に家族の在り方をみつめ直すことができて良かったです。これからも高齢化時代が、益々、深刻になります。国の政策の中、高齢化対策を充実して欲しいと願います。国民年金、厚生年金で、施設で生活できる内容の拡充や保証を真剣に考えて頂きたいです。諫早から、もっと、このような講習を密に、とくんで頂きたい。高齢者や家族が、希望をもち、安心して、生きることが出来る生活づくりにと、発信して頂ければ、有り難いです。本日は、明るい雰囲気での講習が頂き、とても有意義な時間でした。心より感謝いたします。有難うございました。

#### 成果と課題

- お気軽座談会は、センター職員が地区公民館などに出向き開催するため、参加者との距離が近く、気軽に質問や話し合いができる和やかな場づくりができた。
- 座談会の開催概要は、ホームページに掲載することができた。
- 多くの市民の方に医療と介護について普及啓発するために、「お気軽座談会」を開催していることを周知していく必要がある。



# 1. 在宅医療・介護連携に関する専門相談及び退院時の相談支援

居宅介護支援事業所や地域包括支援センターなどの医療・介護関係者、関係機関から在宅療養等に関する相談に、電話や窓口での情報提供や助言を基本に支援および調整に努めた。

要介護者等の退院時に際し、医療関係者や介護サービス事業者その他の関係者の相談に応じ、関係機関との連携を図り退院支援に努めた。(参考1)

相談内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
相談区分	合計	5	5	1	5	1	2	3	2	3	1	1	4	33	
在宅療養支援	①医療等に関する相談	2	2	0	1	0	0	2	1	0	0	0	2	10	
	②介護等に関する相談	0	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	5	
	③短期入院・入所に関する相談	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
	④看取りに関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
転・退院支援	⑤医療情報に関する相談	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	4	
	⑥介護情報に関する相談	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	5	
その他	⑦苦情・クレーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	⑧その他	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0	7	
相談者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
相談者区分	合計	5	5	1	5	1	2	3	1	3	1	1	4	32	
ケアマネ	居宅介護支援事業所	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	5	
	医療関係者	病院、医院	4	2	0	3	1	0	2	0	2	0	0	1	15
		診療所（歯科含む）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		薬局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業所	訪問看護ステーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	在宅サービス事業所	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5	
	施設サービス事業所	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	
関係機関等	地域包括支援センター	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
	行政機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市民	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※相談内容と相談者の合計件数は、複数の相談があるため一致しない。

## 取組み内容

- ア 地域の医療・介護関係者等から、在宅医療、介護サービスに関する相談を受け付けた。相談件数32件。うち、市外の医療連携室より退院に際しての相談は11件。内容はリハビリ継続のために作業療法士、言語聴覚士がいる医療機関情報や痰吸引などの処置に対応できる施設情報の提供や県外の医療連携室へ訪問看護ステーションの紹介を行った。
- イ 要介護者等の退院時の相談では、医療機関情報や施設情報などこれまで収集した情報のほか、地域包括支援センターや行政などへ確認して対応した。
- ウ 相談対応マニュアルの見直しを行った。(参考2)

## 成果と課題

- ア 医療・介護関係者等からの相談に対応するため、医療機関や介護保険施設等のリハビリテーション担当者を訪問・調査し、リストを作成した。
- イ 高齢者施設を対象に、医療処置が必要な方の受入れ体制や看取り対応、費用などをの調査やアンケート調査を行い、リストを作成しホームページに掲載した。
- ウ 「どのような内容が相談されているのか？」との声があるため、ホームページに「相談事例：こんな相談があります」を掲載した。(資料2)

### ホームページ掲載

(こんな相談があります)

「かけし いさはや」では、地域の医療・介護関係者等から在宅医療・介護に関する相談を受け付けています。



- ・在宅支援診療所を教えてください。
- ・認知症の専門医を教えてください。
- ・鎌早市内の転所できる施設を探している。
- ・鎌早市内でかかりつけ医を確保したい。
- ・言語聴覚士がいて退院リハビリ（医療保険）に対応できる医療機関を知りたい。
- ・透析施設ができる施設情報を知りたい。
- ・要介護3の高齢夫婦が一緒に入居できる施設情報を知りたい。
- ・精神科疾患に対応できる訪問看護事業所を教えてください。

## 2. 「諫早市入退院支援連携ガイドブック」の周知・検証及び情報更新への協力

諫早市入退院支援連携ガイドブック（以下「ガイドブック」という。）については、医療機関及び介護事業所等への周知のほか、諫早市高齢介護課と連携し情報更新や内容の検証を行った。

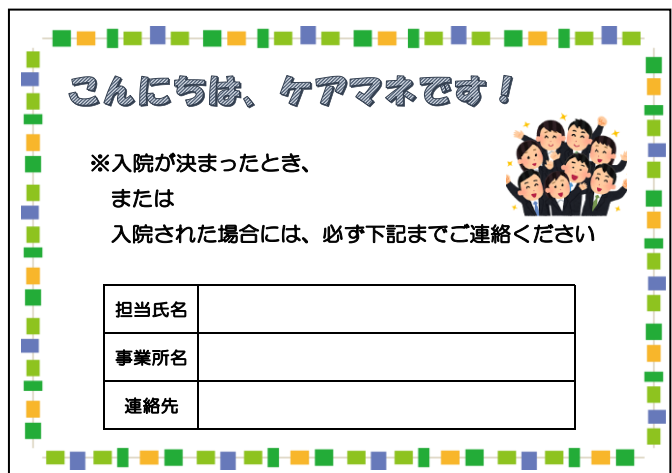
### 取組み内容

- ア 医療連携室（退院調整担当者）への訪問調査では、他の医療機関・介護事業所との連携状況や「ガイドブック」の活用状況を把握。「ケアマネジャーからの連絡が増えた。」「家族からケアマネさんの名前がすぐ出るようになった。」など効果的に運用されている意見があった。
- イ 情報更新への協力では、検討委員会委員として会議へ出席し、医療機関や事業所訪問などで意見聴取した「ガイドブック」の活用状況等を報告した。

### 成果と課題

- ア 令和元年7月に諫早市高齢介護課が実施したアンケート調査結果により、「ガイドブック」導入後の活用状況とその効果、改善点が明確になった。
- イ 今後「ガイドブック」の改善点を解消し、改定内容など医療機関や関係者に対して研修会などを通して周知するとともに、利用拡大を図ることが必要である。

ホームページ掲載 リンク集：諫早市役所より



3 入退院支援連携のフロー（数字は連携の流れを、●は具体的な内容を示しています）

	医療機関	ケアマネ
在宅		<b>1) 担当している利用者・家族に、入院したら担当ケアマネに連絡するよう伝えておく</b> ●担当の名称を添す（介護保険被保険者証と一緒に保管） ●『こんにちは、ケアマネです！』の活用 ●入院先医療機関がケアマネを把握しやすいよう、書院からしておきましょう
入院 (又は転院)	<b>2) 「医療機関がケアマネを把握」または「ケアマネが入院を把握」どちらか早いほうが、3日以内に相手に電話連絡する</b> ●電話連絡の中で情報提供のやり取りが必要か、不要かを話し合う ●医療機関が必要と判断した場合は原則、情報提供のやり取りを行うこととする ●既に入院や繰り返す入院等のため、不要となる場合もある ●介護保険被保険者証には、ケアプランを作成した自治体の介護支援事業所名称が記載されていることを知っておきましょう	●各医療機関への連絡方法は「協力医療機関窓口一覧」参照 <b>3) 必要に応じて、入院時情報提供書を提供</b> ●持参の場合は、医療機関に事前に連絡する
退院調整	<b>4) 入院中の患者情報を双方で共有し、相互に協力して退院に向けた調整を開始</b> ●患者の退院見込（いつ、どこに退院(転院)予定か）について、決まり次第早めに連絡する ●自宅等へ退院の場合→5)へ ●転院の場合→2)に戻る （転院先医療機関にケアマネとやり取りを行う） ●必要に応じて、退院カンファレンスの開催	●退院調整のための利用者の情報収集について、いつ、どこで、誰が、どのような方法で行うのが医療機関と調整 ●貴重・変換の意向を確認し、介護サービスを確認 ●転院の場合、入院時情報提供書は転院先の医療機関に引き継がないため、改めて情報提供書のやり取りが必要か不要か、転院先医療機関と話し合いましょう ●待機や他入所等の理由でケアマネが変わる場合は、新しいケアマネへ十分に引き継ぐとともに、医療機関へその旨伝えましょう ●必要に応じて、退院カンファレンスへの出席 ●開催希望がある場合は、事前に医療機関に伝えておきましょう！
退院	<b>5) 必要に応じて、退院時情報提供書の提供</b> ●情報の追加がある場合は適宜連絡する	●不足情報等については随時医療機関に問い合わせる

### 3. 在宅医療資源情報の把握及び情報整理

在宅医療に関する専門相談や退院時の相談支援に必要な情報収集のため、医療機関や介護事業所、高齢者施設の訪問調査やアンケート調査を実施した。

ホームページに掲載している情報の更新をするとともに、訪問調査やアンケート調査により収集した情報をリスト化し掲載することができた。

#### 取組み内容

##### ア 情報の更新

- ① 医療機関の情報更新は、三師会の協力を得て年1回更新を行った。(資料3)
- ② 介護事業所情報は、長崎県長寿社会課のデータを基に半年に1回更新した。(資料4)
- ③ 高齢者施設情報は、長崎県長寿社会課のデータを基に半年に1回更新した。(資料5)

イ 高齢者施設（軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型共同生活介護（GH）の事業所に対して、医療処置があっても入居可能なもの、看取り対応、費用、施設PRなど調査し、ホームページに掲載した。(資料6)

ウ 諫早市内及び近隣市の病院医療連携室（退院調整担当者）の訪問調査

- ① 病床機能別のベッド数など医療資源情報を把握しリスト化した。(表1・資料7)
- ② 医療連携室における在宅医療・介護連携に関する現状を把握し集約した。(参考3)

エ 訪問介護、認知症対応型共同生活介護（GH）、短期入所生活介護、訪問看護、小規模多機能型居宅介護の各事業所に対して、従業員数、職種、事業所の特色、連携上の課題などを調査し意見を集約した。(参考4)

オ 市内医療機関及び施設のリハビリ担当者の配置状況を調査しリスト化した。(参考5)

#### ホームページ掲載 (資料3)

在宅訪問医療機関情報	
在宅医療機関一覧	68件
訪問歯科医院一覧	41件
訪問薬局一覧	51件

#### ホームページ掲載 (資料5・6)

高齢者施設一覧掲載件数			
介護療養型医療施設	7件	有料老人ホーム	17件
介護老人保健施設	4件	サービス付き高齢者向け住宅	16件
介護老人福祉施設	8件	軽費老人ホーム	4件
地域密着型介護老人福祉施設	6件	認知症対応型共同生活介護	23件
介護医療院	1件		

#### ホームページ掲載 (資料4)

介護保険サービス事業所情報	
通所リハビリテーション	21件
訪問リハビリテーション	2件
ディサービス事業所	49件
地域密着型ディサービス事業所	32件
認知症対応型ディサービス事業所	7件
ショートステイ	15件
医療型ショートステイ	14件
訪問看護ステーション	17件
訪問入浴	2件
小規模多機能型居宅介護	10件
訪問介護事業所	44件
福祉用具販売	11件
福祉用具レンタル	12件
訪問巡回	1件
居宅介護支援事業所	55件

#### (表1・資料7)

病院病床数、病床機能一覧 2019年6月訪問調査より						病床機能						
番号	圏域	名称	住所	電話	病床数	急性期	一般	回復期	慢性期	地域包括ケア	結核	介護病床
1	中央	諫早記念病院 (在宅療養支援病院)	諫早市天満町2番21号	22-0370	112	34			15	63		
2	北部	諫早総合病院 (在宅療養後方支援病院)	諫早市永昌東町24番1号	22-1380	323	315					8	
3	西部	長崎原簿諫早病院	諫早市多良見町化屋986-2	43-2111	123		51			52	20	
4	西部	慈恵病院	諫早市多良見町化屋995	43-2115	230		32		198			
5	西部	西諫早病院	諫早市良津町3015	25-1150	71	64				7		
6	西部	吉崎病院	諫早市久山町1575番地1	25-4800	153	93		33		27		
7	南部	恵寿病院	諫早市有喜町593番地1	28-3832	133				109	24		
8	南部	唐比病院	諫早市森山町大字唐比西1165	36-0011	158				118			40
9	南部	純川病院	諫早市小野島町2378-2	24-3180	164			22	142			
10	南部	菅形整形外科病院	諫早市小野町332番地	23-2388	73	37		36				
11	東部	佐藤病院 (在宅療養支援病院)	諫早市小長井町弁崎98	34-2062	40		20			20		
12	東部	山崎病院 (在宅療養支援病院)	諫早市小長井町小川原浦656番地	34-2007	38		8		30			
13	市外	愛野記念病院	壺崎市愛野町甲3838-1	36-0015	234		175			59		

#### 成果と課題

ア 高齢者施設の訪問調査やアンケート調査を実施したことで、新たにデータベースとして情報が充実し「見える化」ができ、施設選択の材料や相談対応への活用ができた。

イ 医療・介護資源情報をマップ化し周辺状況も併せて把握しやすくなった。

ウ 関係団体の研修会案内等を掲載し、情報発信ができるよう検討する必要がある。

## 4. 在宅医療・介護連携普及啓発

### ア 在宅医療・介護従事者研修の実施

#### ① 在宅医療・介護関係者向け研修会の開催

地域の在宅医療・介護関係者を対象に研修会を開催し、お互いの分野について知識を深め、関係者間の連携が円滑になるよう、講演会の後多職種によるグループワークを行った。

ホームページ掲載

(資料8)



(在宅医療・介護関係者研修会 於：たらみ会館集客室)

令和元年度「在宅医療・介護関係者」研修会

### 「いっしょに話しませんか？」

～日頃の悩みや課題を共有し、解決の糸口を見つけませんか～

**研修目的**

在宅医療に携わる皆さんが、顔の見える関係をつくりながら、同一職種で情報を共有し、多職種とも意見交換ができる場です。お互いの役割を理解しあい、多職種との連携もスムーズになり、日頃の業務に活かす研修を目指します。

**日時** 令和元年8月30日(金) 19:00～21:00 (受付 18:00～)

**会場** 諫早市多良見会館2階集客室(多良見支所横)

**対象者** 医療・介護に携わる関係者

**講師** 宇賀 達也先生  
(宇賀外科医院 甲状腺・乳腺クリニック)

**アドバイザー** 医師、歯科医師、薬剤師

**申込方法**  
裏面の研修参加申込書をFAXしてください。

**研修プログラム**

- 宇賀達也先生より、在宅医療について講演していただきます。
- 申込書に記載して頂いた「医療と介護の連携で日常業務で困っている事(悩みや課題)」を中心に同職種間で共有するため、グループワークを行います。  
※グループの構成については、参加者の職種によっては調整があります。
- 各グループで取りまとめた悩みや課題、解決策については発表してもらいます。
- 他職種への質問やアドバイスをし、お互いの役割を理解します。

**【お問い合わせ】**  
一般社団法人 諫早医師会  
諫早市在宅医療・介護連携支援センター  
【野口・西村】  
電話：0957-46-3166  
FAX：0957-46-3167

### 取組み内容

日 時	令和元年8月30日(金)	午後7時から9時まで
場 所	諫早市多良見会館2階	
対 象 者	西部地域包括支援センター圏域の医療・介護関係者	参加者 54名
テ ー マ	いっしょに話しませんか？ ～日ごろの悩みや課題を共有し、解決の糸口を見つけませんか～	
講 師	宇賀外科医院・甲状腺乳腺クリニック 宇賀達也先生	
講演内容	「在宅診療のお話 ～家での看取り～」	
アドバイザー	美南の丘クリニック	松尾 彰先生
	森田歯科医院	森田倫巳先生
	ローズマリー薬局	吉田忠弘先生

#### 【多職種によるグループワーク】

テーマ：『みんなで作ろう 新しい多職種連携 ～顔の見える関係づくり～』

内 容：現状の課題や自身の職種でどのような取り組みができるかを討議した。医療系職種と介護系職種が同じテーブルとなるよう配席した。

また、進行係を事前にお願ひし実施した。



### 成果と課題

- 西部包括圏域の三師会の先生方に講師、アドバイザーとして参加いただいた。また、参加者も顔見知りの先生方で、アットホームな雰囲気の中で研修会が開催できた。
- グループワークは、進行役を事前にお願ひし、また資料を事前に郵送したことにより、活発な意見交換とグループ発表ができた。
- 「グループワークの時間が短い」とのご意見は、前回はあり、平日夜の研修を大方が希望されるため、開催時間や運営方法は今後の検討課題である。

## ② 訪問介護事業所の意見交換会の開催

6月に実施した訪問介護事業所アンケート調査の結果、「意見交換する場や定期的な情報共有の場が必要」などの意見が多かったため、管理者やサービス提供責任者を対象に、意見交換会を開催した。

### 取組み内容

開催日及び場所 令和元年11月21日及び2月13日 於：健康福祉センター  
グループワークを行い、訪問介護事業所の現状と課題について意見交換により、情報の共有や各事業所の課題を共有し、今後の連携の在り方を検討する場となった。

### 成果と課題

- ・11月、2月の2回開催し、10事業所から合計32名の参加があった。
- ・訪問介護士同士の顔の見える関係づくりができ、関係機関との連携で困っている事、聞きたい事、伝えたい事などを共通認識することができた。
- ・意見交換会での課題については継続して議論を深める場が必要となる。
- ・意見交換会に参加した事業所の有志で「自主グループ」が立ち上がり、活動することとなった。



グループワークの様子

(参考6)

## ③ 医療連携室と訪問看護事業所との意見交換会

6月に実施した訪問看護事業所アンケート調査により、医療連携室と訪問看護事業所のスタッフがさらに連携が図れるよう、顔の見える意見交換会開催の要望があり開催した。

### 取組み内容

参加者：医療連携室18名/9病院、訪問看護事業17名/10事業所、合計35名  
内容：同職種のグループワークの後、多職種のグループを作り、自己紹介や名刺交換を行い、自由な意見交換を行った。

(参考7)

### 成果と課題

- ・目的とした実務者同士の顔合わせとそれぞれが課題と考えていることの共通認識ができた
- ・今後も定期的開催し「顔の見える関係づくり」が必要との意見が聞かれた。
- ・意見交換会のみでなく、在宅医療関係者の講演も実施するなど工夫も必要である。



同職種によるグループワークの状況



多職種によるグループワークの状況



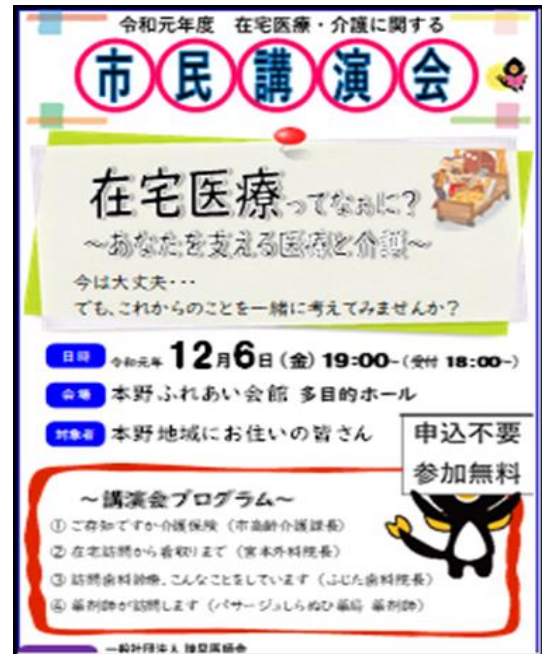
## イ 普及啓発講演会等の開催

### ① 市民講演会

在宅医療・介護連携に対する市民の理解促進を目的に、三師会の先生方及び市高齢介護課と連携し市民講演会を開催した。

ホームページ掲載

(資料9)



### 取組み内容

日時 令和元年12月6日 午後7時から9時まで

場所 本野ふれあい会館

対象者 本野地区にお住いの皆さん 参加者 50名

テーマ 在宅医療ってなあに ～あなたを支える医療と介護～

講師	高齢介護課	竹下 潤様・中島梨奈様	「ご存知ですか？介護保険」
	宮本外科	宮本俊吾先生	「在宅医療ってなあに」
	ふじた歯科医院	藤田浩一先生	「訪問歯科診療について」
	パサージュしらぬひ薬局	宮崎彰宜先生	「薬剤師が訪問します」

講演内容 行政からは、介護保険の申請方法や相談窓口、介護保険サービスを利用するまでの流れについて、また3人の先生方からは、在宅医療を行うため「かかりつけ医」の必要性や終末期ケアの在り方、訪問歯科診療の内容や薬剤管理の指導内容など、在宅医療の現状について講演された。

### 成果と課題

- 在宅での療養が必要になったときに、必要なサービスを適切に選択することや終末期ケアの在り方、在宅での看取りについて理解を深めてもらうことができた。
- 北部地域包括支援センター圏域での開催とし、講師も圏域内の市民の方もご存知の先生方で身近な存在であり、親近感のある講演会となった。
- 50名の参加があり、アンケートには率直な意見を頂き、アンケート結果より、満足度の高い講演会であったことが伺えた。回収率は90%。

#### 【アンケートでのご意見】

- 「看取りの在り方について特に考えさせられた」
- 「訪問歯科、訪問薬剤師がいらっしゃるとは知らなかった」
- 「かかりつけ医の大事さを理解できた」

## ② 医療と介護のお気軽座談会の開催 (再掲)

概ね10名以上の地域の団体やグループの市民を対象に、在宅医療や介護への理解を深めてもらうため、「医療と介護のお気軽座談会」を開催した。

第1回：1月30日(木) 場所：真崎町公民館 参加者：17名  
 第2回：2月13日(木) 場所：上山荘 参加者：17名  
 第3回：3月17日(火) 場所：さざんか会館 参加者：14名

ホームページ掲載

(資料10)

### 医療と介護のお気軽座談会

当センターでは、市民の方を対象に、在宅医療・介護への理解を深めることを目的に「医療と介護のお気軽座談会」を開催しています。

在宅医療ってなあに？

介護保険サービスを利用する

かかりつけ医で安心を！

その時に備えて  
(ACP=アドバンス・ケア・プランニング)

**対象**

市内在住の市民で概ね10名以上の地域の団体やグループ

**\*費用\***

無料です

**会場**

申し込まれた方がご希望の会場  
駐車場はご準備ください

**時間**

原則として平日  
(月曜日から金曜日)  
60分程度

**その他**

終了後はアンケートのご協力を  
お願いします

裏面の申込書に記入の上 FAX(46-3167)でお申込みください

お問い合わせ 諫早市在宅医療・介護連携支援センター【担当：野口・西村】  
 電話 0957-46-3166 FAX 0957-46-3167  
 URL <https://kakehashi-isahaya.com/>

ホームページからも申込書のダウンロードができます

今日は、貴重な講習に参加させて頂き、有り難うございました。現在同居の母が、中脳を括弧支援センター、お世話になり、毎週1回リハビリに通っています。×前は、小倉町のリハビリに通っていましたが、大腿部骨折後、妹と私、三人同居になりました。その為、今後の生き方について、話し合う事も多くなり、先日も、三人それぞれの終活について、話し合いました。今日、カナルで「その時に備えて...」を拝見し、内容が充実して、記入しやすいため、話し合ってきた記録を残しているかたので、今回のカナルを利用して頂きます。又、母も祖父母(舅、姑)を看取り、自覚迄介護してまいりました。やはり、最期の時期は、自覚で、余計な処置をしないように望んでいます。そのため、母の望みによりあげたい、妹達と話し合っています。今日、このような機会に参加させて頂き、改めて、自身の生き方や、母の人生を平せたい願う時、真剣に家族の在り方をみつめ直すことができました。

これらも高齢化時代が、益々深刻になり、国の政策の中、高齢化対策を充実して欲しいと願います。国民年金、厚生年金で、施設で生活できる内容の拡充や保証等、真剣に考えて頂きたいです。

諫早から、もっと、このような講習を密に、とりこんで頂くと、高齢者や家族が、希望をもて、安心して、生活ができる生活づくりにと、発信し頂ければ、有り難いです。

今日は、明るい雰囲気での講習を頂き、とても有意義な時間でした。心より感謝いたします。有かたございました。



### 成果と課題

- ・ お気軽座談会は、センター職員が地区公民館などに出向き開催するため、参加者との距離が近く、気軽に質問や話し合いができる和やかな場づくりができた。
- ・ 多くの市民の方に医療と介護について普及啓発するために、「お気軽座談会」を開催していることを周知していく必要がある。
- ・ 座談会の開催概要は、ホームページに掲載することができた。

### アンケートのご意見

- ・ アンケートでは、「元気な今は自分のことと思えなかったが、自分のこととして考えることができた」「楽しく終末のことについて考えることができた」などのご意見を頂いた。

取組み内容

「ご存知ですか？在宅医療」「最期まで自分らしく暮らすために 四つの備えを！」の二種類のパンフレットを研修会や市民講演会、お気軽座談会などで配布している。

成果と課題

- ・市民講演会では在宅医療・介護の普及啓発、ACPの普及啓発資料として参加者に配布した。
- ・お気軽座談会ではこの2種類のパンフレットを資料として活用し、また、「その時に備えて～最期まで自分らしく暮らすために～」(サンプル)を作成し配布した。(参考8)



【その時に備えて～最後まで自分らしく暮らすために～ サンプル】 (参考9)

その時に備えて ～最後まで自分らしく暮らすために～

もしもの時に備えて介護や医療の場面でどんなケアをしてほしいか、元気づけから書くと、希望することを話し合っておきましょう。 **サンプル**

1 今、あなたが希望すること

<input type="checkbox"/> 変装や友人のそばにいること	<input type="checkbox"/> 少しでも長く生きること
<input type="checkbox"/> 仕事や社会的役割がなくなるまで	<input type="checkbox"/> 好きなことができること
<input type="checkbox"/> 身の回りのことが自分でできること	<input type="checkbox"/> 一人の時間が保てること
<input type="checkbox"/> 自分が経済的に困らないこと	<input type="checkbox"/> 変装が経済的に困らないこと
<input type="checkbox"/> 変装の負担にならないこと	<input type="checkbox"/> その他( )

2 これからの夢やチャレンジしたいこと(行きたい場所、やってみたいこと)

10の歳で
70の歳で
80の歳で
90の歳で

3 家族等に伝えておきたいこと

- お気に入りの食事(好きなもの、嫌いなもの)や酒等の嗜好品
- 白髪など習慣になっていること(髪型、テレビ番組など)
- 好きなもの(動物、花等)、好きなこと(読書、音楽、踊り等)、身に付けていたもの
- 大切な思い出(場所、写真)、忘れられない思い出(良かったこと、失敗したこと)してほしくないこと、不安なこと
- 他に伝えておきたいこと

4 介護の希望

- ◆ 自分で判断ができなくなった場合、誰の意見を尊重してほしいですか  
お名前 \_\_\_\_\_ 住所 \_\_\_\_\_ 連絡先 \_\_\_\_\_
- ◆ どこで介護をしてほしいですか  
 できるだけ自宅を希望  施設や病院を希望
- ◆ 誰に介護をしてほしいですか  
 できるだけ家族に任せたい  ヘルパーなど介護の専門職に任せたい
- ◆ 最後の時を迎える場所について  
 自宅  施設  病院  その他

5 医療の希望

- ◆ かかりつけの病院・診療所 \_\_\_\_\_ 科 \_\_\_\_\_
- ◆ かかりつけの歯科医院 \_\_\_\_\_ 歯科医院 \_\_\_\_\_
- ◆ かかりつけの薬局 \_\_\_\_\_ お薬手帳の保管場所 \_\_\_\_\_
- ◆ 病名と余命について  
 病名も余命も告知して欲しい  
 病名だけは告知して欲しい  
 余命が( )か月以上であれば、病名も余命も告知して欲しい  
 病名も余命も告知しないで欲しい

◆ 終末期になった時の名簿の希望

1 苦痛をやわらげる必要	<input type="checkbox"/> して欲しい	<input type="checkbox"/> して欲しくない
2 心臓マッサージなどの心臓蘇生	<input type="checkbox"/> して欲しい	<input type="checkbox"/> して欲しくない
3 延命のための人工呼吸器	<input type="checkbox"/> つけて欲しい	<input type="checkbox"/> つけて欲しくない
4 胃ろうなどによる栄養補給	<input type="checkbox"/> して欲しい	<input type="checkbox"/> して欲しくない

◆ もしもの時の話し合い

話し合いの日時・場所	日時 _____ 月 _____ 日 _____ 時～
話し合いの参加者	<input type="checkbox"/> 本人 氏名 _____ 続柄 _____ <input type="checkbox"/> 氏名・本人との関係(記入) _____ 氏名 _____ 所属 _____ 職種 _____
話し合いの状況・結果など	

◆ この他にも大切なことを確認しておきましょう。

あなた自身の情報	健康保険証	運転免許証	障害者手帳	住民票
年金手帳	マイナンバーカード	印鑑	名刺	電話番号
財産	○預貯金口座	金融機関名	名義人	
	○不動産	土地や建物、マンション・アパートなどの名義人(共有者含む)、持ち分、所在地、権利書の保管場所など		
	○青返証書等	株式、債券、投資信託、個人年金保険、生命保険など		
	○ローン返済	住宅ローン、教育・自動車、その他のローン		
親戚・友人リスト	名前、関係、住所、連絡先、入院時の連絡の責務、葬儀時の連絡の責務など			
お薬歴やお薬について				
遺言書について				
パソコン、スマートフォンなど	ロックの解除(ID、パスワードなど)			

【メモ欄】

諫早市在宅医療・介護連携支援センター  
TEL: 46-3166 FAX: 46-3167

## 5. 地域包括支援センターとの連携

地域包括ケアシステムの中心的機関である地域包括支援センターと、顔の見える関係構築を図るため情報交換を行い、現状や課題について相互に理解することができた。

### 取組み内容

#### ① 地域ケア会議（個別対応）への参加

当センターから中央部包括支援センターへつないだ認知症者の事例検討会へ参加した。家族支援を含めた事例に対して、それぞれの職種の立場を生かしチームとして支援できた。

（参加者：ケアマネジャー、訪問看護師、訪問薬剤師、認知症疾患センター、弁護士など）

#### ② ケアマネジャー対象事例検討会 西部包括支援センター

権利擁護2事例を通じてケアマネジャーとしての動き方、関係機関との連携の在り方について討議した。利用者の問題を一人で抱え込まないで、関係各所との相談を再確認した。

#### ③ 地域ケア会議（共通課題）への参加

必要な情報が確実に伝達されるためのツールとして「(仮)支援連携統一シート」の試用について中央部包括支援センターと3病院間でシート使用の検証結果報告と有用性、改善点などを検討した。（参加者：病院MSW、包括支援センター、市、センター職員）

#### ④ 地域包括支援センター（5包括）との合同活動報告会

「地域包括支援センター3職種の本年度活動報告」「諫早市在宅医療・介護連携支援センター実績報告」を行った。

（参加者：5カ所の地域包括支援センター、当センター職員、高齢介護課担当）

### 成果と課題

- 地域包括支援センターが開催する地域ケア会議、研修会に参加し包括の役割を再確認した。
- 合同活動報告会でそれぞれの活動内容の理解が深まった。地域包括支援センターと当センター間での連携について共通認識できた。
- 各包括支援センターが独自にまとめ提供している諫早市内の社会資源情報などを、当センターのホームページより発信できれば、さらに活用できると思われる。
- 当センターが受け付けた相談内容や、地域包括支援センターで取り扱っている地域の在宅医療介護の課題など協議の場を持つことにより、お互いの理解が更に深まるのではないかと。



## 6. その他の業務

職員の資質向上のため、先進地視察や各種研修会、講演会に参加し自己研鑽に努めた。  
また、公立高校や県立看護学校の依頼により研修を受け入れた。

### (1) 先進地視察

今後さらに医療職と介護職の相互理解及び情報共有を進め、相互の連携を構築するため、「多職種連携」について、先進的或いは特色ある取り組みをしている自治体を視察した。

視察日時 令和元年10月10日（木）から11日（金）

視察場所 徳島市在宅医療支援センター、高松市医師会

徳島市：医師会を中心に積極的に在宅医療に取り組み、連携のための研修会等を多く開催するなど、課題解決のためPDCAサイクルが確立していた。また地域包括支援センターとも協働し、「対応可能な医療処置」など高齢者施設情報を発信していた。

高松市：「在宅医療コーディネーター」を独自に育成し、ケアマネジャーとともに市民を支援するシステムを構築していた。



### 成果と課題

- ・両市ともに、医師会が中心となり積極的に在宅医療に取り組んでいる状況があり、様々な会議や研修会も活発になされていた。
- ・視察で得た情報を参考に、高齢者施設の詳細情報のアンケート調査を実施し、関係者がるようにホームページに掲載した。
- ・他市の情報を収集し・研修などを行い、医療職と介護職の多職種連携に務める必要がある。

### (2) 研修等受け入れ

#### 取組み内容

- ① 西陵高校フィールドワークの受け入れ（令和元年7月12日）  
生徒2名の「フィールドワーク（地域課題への取組・現地実習）」研修を受け入れた。  
当センターの業務内容の説明や事前提出された質問内容に沿って対応した。
- ② 県立看護学校専門課程3年生への講義（令和元年10月9日）  
目的：諫早市の地域包括システムの現状を知り、在宅医療と介護の連携を理解する  
【講演テーマ】  
高齢介護課：諫早市における地域包括システムの現状  
中央部包括支援センター：包括支援センターの役割と現状  
かけはし いさはや：在宅医療と介護の連携事業の実際

### 成果と課題

地域包括ケアシステムや在宅医療・介護連携推進事業について、諫早市が進めている内容について、各担当者が説明した。多くの学生が病院等で勤務する際に、「在宅医療の視点」を持つきっかけとなることを期待しています。

